



静岡県教育委員会  
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

平成31年(2019年)  
4月5日  
金曜日  
第210号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 平成31年度(2019年度)静岡県教育委員会 「教育行政の基本方針」のポイント

### POINT 1

#### I 「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現 ～「静岡県ならではの」魅力あふれる学校づくりに向けて～

##### 1 「知性を高める学習」の充実

- 児童生徒の資質・能力を引き出す探究的な学習を推進し、確かな学力を向上します。
- 各教科におけるICTの活用と、プログラミング教育を推進します。
- 小学校英語中核教員の育成、ALT活用による「話す」「聞く」力の強化を進めます。

##### 2 「技芸を磨く実学」の奨励

- 企業や大学と連携したキャリア教育を推進します。
- 地域と連携した専門教育の充実とその魅力発信、地域学の推進による郷土愛の醸成に取り組みます。
- ラグビーW杯、東京オリ・パラを契機に、大会についての学習や試合観戦、パラスポーツ体験等を進めます。

##### 3 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

- 学校における働き方改革を推進します。
- 幼児教育無償化への対応として、関係者の連携促進、課題解決のための研究を行います。
- 高校における巡回による通級指導、特別支援学校における地域の小・中学校との交流及び共同学習を進めます。
- 県立学校の老朽化対策、特別支援学校の空調設備の整備に取り組みます。

詳しい内容は、このkeywordで検索!

静岡県 H31  
教育行政の基本方針



「有徳の人の育成」のためには、子供たち一人一人の能力、適性、意欲、成長に応じて、それぞれが持つ資質を十分に伸ばしていく教育を社会全体で進めていく必要があります。

本年度は、さらに、急激な技術革新やグローバル化等により将来予測が困難な時代を生き抜くに当たって必要な「生きる力」を育むため、ここに示す取組を重点的に推進します。

【教育政策課】

### POINT 2

#### II 未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現 ～世界の中の日本、静岡を認識し、活躍できる人材の輩出に向けて～

##### 1 グローバル人材の育成

- ふじのくにグローバル人材育成基金による海外留学、海外インターンシップ、教職員の海外研修等の充実を図るとともに、海外教育旅行を促進します。
- 外国人児童生徒等への日本語指導・キャリア形成の支援を拡充します。

##### 2 イノベーションを牽引する人材の育成

- 専門的知識・技能を有する外部人材の活用などにより、多様な学習機会を提供します。

### POINT 3

#### III 社会総がかりで取り組む教育の実現 ～地域全体で、様々な状況の子供たちに対するきめ細かな支援の充実に向けて～

##### 1 地域ぐるみの教育の推進

- コミュニティ・スクール導入に向けた支援を進め、地域と学校が連携・協働した教育活動を行う地域学校協働本部の設置を促進します。
- 「しずおか寺子屋」など地域の人材を活用した学習支援を推進します。

##### 2 誰もが夢と希望を持ち社会の担い手となる教育の推進

- SNSを用いた相談体制を構築し、いじめなどの悩みの早期解決を図ります。
- ネット依存傾向の青少年を対象とした自然体験回復プログラムを試行します。
- 様々な人々の学び直しの場としての夜間中学の設置を検討します。

## 教員の年次別研修の体系が変わります!

グローバル化や技術革新による社会の急激な変化に対応するために、教員も学び続ける必要があります。そこで、キャリアステージに応じて教員に求められる資質能力を示した静岡県教員育成指標に基づき、初任者研修から中堅教諭等資質向上研修までの研修体系を見直し、効果的に資質能力の向上を図る体制を整備しました。

### 学び続ける教員へ!

研修の複数年次化により継続的な学びを実現しました。その結果、効果的なタイミングで研修が受講できるようになります。(太字下線部が新しく設定された研修)

従来の研修体系	新しい研修体系
初任者研修(略称:初任研) 2年次研修	初任者研修 2年次研修・ <b>3年次研修</b>
5年経験者研修	6年次研修(名称変更) <b>7年次研修・8年次研修</b>
中堅教諭等資質向上研修 (略称:中堅研)(11年次)	中堅教諭等資質向上研修 (11年次・ <b>12年次</b> )

(7年次・8年次は高校のみ、12年次は高校・特支のみ実施。小中学校には県主催研修以外にも市町教委主催研修など、研修機会が確保されています。)

### 効果的な研修に!

「教員は学校で育つ」という考えにより、校外研修と校内研修を往還させ、効果的かつ効率的な研修を企画することで、研修日数を削減しました。高等学校では、異なるキャリアステージの教員等と学び合うチーム研修を導入するなど、校内研修を充実させました。

研修名	場所	小中学校	高等学校	特別支援学校
初任研	校外	19日→13日	20日→12日	20日→12日
	校内	300時間→ <b>300時間</b>	300時間→ <b>300時間</b>	300時間→ <b>300時間</b>
中堅研	校外	13日→8日	13日→11日	13日→11日
	校内	20日→10日	20日→10日	20日→10日
初任研から 中堅研まで	校外	38日→28日	39日→35日	39日→30日
	校内	20日+300時間 →10日+300時間	22日+300時間 →18日+300時間	20日+300時間 →10日+300時間

### 採用からの年数で研修実施!

平成30年度までは経験年数を基準に研修を実施していたため、産育休などで休職期間があると、その期間分、研修を延期していました。その結果、職務上、求められる資質能力と研修内容が一致しないことがありました。

平成31年度からは、求められる資質能力が身につけられるよう採用からの年数を基準に研修を受講するよう変更しました。

初任者研修と中堅教諭等資質向上研修以外の年次別研修は、欠席しても翌年以降に延期しないことになりました。高校・特支は、希望によりフォローアップ研修を受講できます。



研修が複数年次化したってことは、出張が増えるのかなあ?

研修を複数年次化しましたが、校外・校内研修ともに日数は従来よりも減っています。



研修の受講年度については、校種によって扱いが異なる場合がありますので、詳細は所管課に確認してください。



平成31年度からの年次別研修体系の詳細については、以下のHPにて  
<https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-020/kyouinknshuukeikaku.html>

【教育政策課】



実践NOTE 417

# 言語科で実現する深い学び

沼津市立愛鷹中学校 教諭 山崎 仁史

私は、沼津市教育委員会の研究指定校である門池中学校と今沢中学校に勤務し、沼津市独自の教科「言語科」の研究及び言語科副読本の作成に関わりました。この経験を通して、沼津市の言語科を紹介いたします。



新たに作成した副読本



小学校の言語(英語)の授業の様子

## 学習指導要領の 一歩前を

平成19年度、市内一斉に始まった言語科は、「英語の時間」と「読解の時間」からなり、「言葉を用いて積極的に人と関わっていきこう」とする態度の育成を目的としました。「英語の時間」では小学校1年生からALTと英語で触れ合い、「読解の時間」では平成20年版学習指導要領を先取りし、PISA型読解力(※)の育成を目指してきました。

平成26年度、私が勤務した門池中学校は、市教委から言語科研究の指定を受け、「今後の社会で求められる人材」と「本校の生徒の実態」という2つの視点で、新学習指導要領を意識した新たな言語科の在り方について研究を進めました。第1の視点は、「変化の激しい社会やグローバル化された社会に対応できる人づくりに」。第2の視点は、「問題解決型の授業から問題解決型の授業へ、唯一解を求める授業から最適解を求める授業への転換」です。研究テーマを「自ら問いを持ち、探究と交流を通して、学びを重ねていく生徒」と設定し、子どもが学ぶ(主体的に学習に取り組む)授業づくりを追究しました。これにより、中学校の校内研修の障害となりがちな教

科の壁が低くなり、全ての授業者が、言語科のみならず各教科でも同じベクトルで授業改善に取り組み、子どもたちの学びも深まってきています。



深め合った意見を全体に発表している様子

身近な社会的現象から問いを見いだし、学びの場を学校から現実社会へと広げ、地域の方々と関わりながら、自らの最適解を導いていく授業の積み重ねを目指したからです。

※社会で生かす言語能力やテキストからの情報を活用し問題解決に利用できる能力

実践NOTE 418

# ICTを活用して伝える我が国 伝統的な歌唱

静岡県立小山高等学校 教諭 村松 佑哉

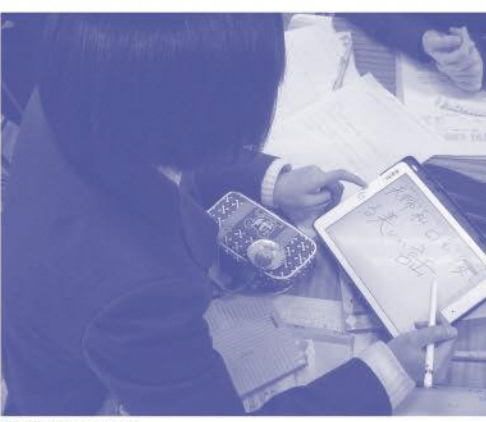
平成30年8月に東京藝術大学を会場に行われた文部科学省主催の伝統音楽指導者研修会に参加しました。この研修は、箏や尺八、三味線などのコースに分かれて2日間に行なわれて実技講習を受けるものです。

私は、武田孝史教授による能の「伝統的な歌唱(謡曲)宝生流」を受講しました。



タブレット端末を操作しながら机間指導する筆者

タブレットを用いた学習 能に関する資料は教材用としても少なく、一般にも書籍などで紹介されることはあまりありません。しかし今日、ウェブや動画などで専門家が掲載している資料が増えてきました。そこで今回、まずは生徒たちに能について調べ



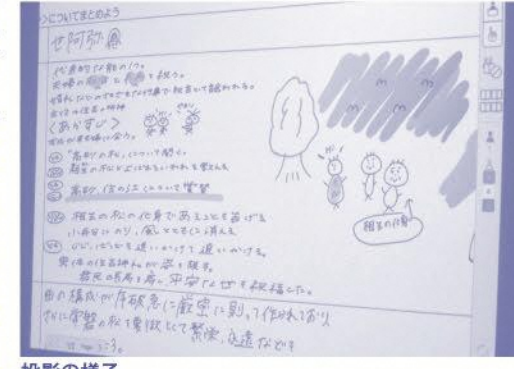
調べ学習の様子

調べたことは授業支援アプリケーションを使ってタブレット端末にタッチペンを利用して書き込んでいきます。このアプリケーションは、生徒が作成している内容を教員IDでログインした端末でリアルタイムに確認したり、エクスターに投影することができます。

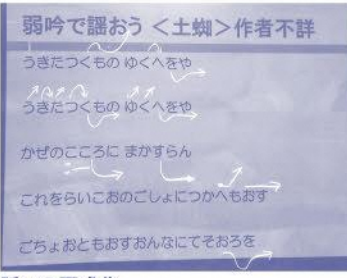
今回のお題は「2つの能の演目について、そのあらすじと求められる歌唱表現としての謡いの特徴をまとめよう」。能には大きく「強吟」と「弱吟」の2種類

の謡い方があります。今回は強吟の代名詞とも言える「高砂」と、弱吟の「土蜘蛛」を取り扱いました。

どのようにとまとめたらいいのか悩んでしまっていた、進まないグループに対して、他のグループの取り組みを参考にさせることができ、机間指導を通して、生徒が調べている過程で生じた疑問を全体で共有する際に、その箇所を大きく投影して共有することができました。



投影の様子



謡いの図式化

## 未来に向けて、挑戦してみませんか? ~「高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)」~

高卒認定試験は、高等学校を卒業していないなどの理由で、大学等の受験資格がない方に高等学校卒業者と同等以上の学力があるかどうかを文部科学省が認定する試験です。合格者には、日本国内の大学・短大・専門学校の受験資格が付与されます。また、高等学校卒業者と同等の学力がある者として認定され、就職・資格試験等に活用することもできます。高等学校に在学中でも受験可能であり、各学校長の判断によりますが、高等学校の単位として認められる場合もあります。多くの方がチャレンジしやすくなるよう、県では文部科学省と連携して、県内会場を設置します。詳細は、県社会教育課にお問い合わせいただくか、文部科学省のホームページをご覧ください。(http://www.mext.go.jp/a\_menu/koutou/shiken/index.htm) 問 社会教育課 054(221)3163

	平成31年度高卒認定試験スケジュール	
	第1回	第2回
受験案内配布	4月8日(月)~	7月19日(金)~
願書受付	4月26日(金)~5月15日(水)	8月29日(木)~9月12日(木)
試験日	8月6日(火)・7日(水)	11月9日(土)・10日(日)
試験会場	静岡県職員会館(静岡市)	



# 静岡県の教育委員さんを知ろう!

生年月日：昭和53年3月29日  
 出身地：静岡県金谷町  
 星座：牡羊座  
 普段は何してる人：子どものラグビーコーチ、エスパルスのアドバイザー、アザレアSCの女子ラグビー監督、ラグビー選手  
 好きな食べ物：龍月堂の生クリーム大福  
 好きな色：内緒  
 好きなアイス：ラムレーズン  
 ストレス発散法：走る  
 マイブーム：ロードバイク

### 教職員へ伝えたいこと

中・高時代は週3日の部活動しか行わない学校出身なのですが、長くラグビー日本代表に選出され多くの経験をする事ができました。コーチも選手も学び続けることが重要と考え、現在でもカテゴリーを変えながら自分の体を使いプレーすることで試しています。そこで感じたコツを体験しやすいよう環境設定し、自他理解を深めるキッカケや集団での問題解決能力向上をスポーツを通じて作り出せればと思っています。学びの現場から多くを学び取ろうと思っています。これからよろしくお願いします。



小野澤 宏時 委員

生年月日：昭和32年6月20日  
 出身地：東京都  
 星座：双子座  
 普段は何してる人：フトンバレーセンター長／静岡大学顧問  
 好きな食べ物：お酒に合う肴  
 好きな色：萌黄色  
 好きな言葉：人間万事塞翁が馬  
 好きなアイス：抹茶アイス  
 ストレス発散法：暴飲暴食  
 カラオケで歌う曲：ああ人生に涙あり

### 教職員へ伝えたいこと

生徒だけでなく教師や保護者や生徒の学習に関わるあらゆる人たちがそれぞれに成長できる環境を作り上げたいですね。そのキーマンは教師だと思います。教師はteacherではありますが、今後は、Teachingのスキルだけでなく、coachingのスキルが、更には学びのプロデュース力が重要になってくると思います。新たな教師像を作りだしていきましょう。



伊東 幸宏 委員

生まれた年：昭和26年  
 出身地：東京都  
 星座：水瓶座  
 普段は何してる人：複数の非常勤業務とDIY  
 好きな食べ物：特に好き嫌いはありません  
 好きな色：ネイビーブルー、チョコレートブラウン  
 好きな言葉：為せば成る 為さねば成らぬ  
 好きなアイス：チョコレート・マーブル  
 ストレス発散法：ストレスはためません

### 教職員へ伝えたいこと

10~20年先、今の子どもたちが社会で活躍する時代の日本、どうなっているだろうか。これまで単一色だった歴史的日本とは様変わり、多様な環境に激変しているに違いない。そんな時代に日本が世界から埋もれないために、教育現場は教える教育から考えさせる教育に舵を切り替えているだろうか。幅広い心を育む情操教育と多様性を理解し受け止められる教育、またIT技術を存分に活用する教育が推進されるよう期待したい。



藤井 明 委員



加藤 百合子 委員



渡邊 靖乃 委員

生年月日：秘密  
 出身地：千葉県  
 星座：ふたご座  
 普段は何してる人：農業関連事業の経営者  
 好きな食べ物：インドカレー  
 好きな色：りんどうの色  
 好きな言葉：万事塞翁が馬  
 ストレス発散法：面白いこと考える、作る  
 マイブーム：ミニオン

### 教職員へ伝えたいこと

「真面目」はほどほどに。( ^\_^ ) 子どもたちにとって先生は「先を生きる人」ですから、生きることを楽しんでいる姿を見せることが一番の教育になります。「やらされている」感が強ければ、もしかしたら、やるべき仕事でないことをしているのかもしれない。熱い思いをもって先生になられたと思うので、皆さんがわくわくしながら子どもたちと接することができるような教育環境になるよう、一緒に取り組んでいきましょう。

生年月日：ないしょ  
 出身地：静岡県三島市  
 星座：やぎ座  
 普段は何してる人：地域の未来を創る人をつくる仕事やボランティアをしています。(小学校英語講師、PTA事務局、ドリームマップ®ファシリテーター、できたことノート認定講師、みしまコロケの会など)  
 好きな食べ物：箱根西麓三島野菜  
 好きな色：ビタミンカラー  
 好きな言葉：No Rain, No Rainbow  
 好きなアイス：本わさびソフトクリーム  
 ストレス発散法：筋トレ、フラメンコ、さんぽ  
 マイブーム：1日3回自分をほめる  
 カラオケで歌う曲：Happiness

### 教職員へ伝えたいこと

児童生徒・保護者・地域の方々と日々向き合っている教職員の皆さま、本当にお疲れ様です。私は「子どもたちの笑顔」と「教職員の幸せ」は、同じくらい大切と考えています。幸せオーラは、子どもたちを安全安心な気持ちにさせるからです。より良い静岡の教育に向けて、ともに力を合わせていきましょう!





# 学習者との「ズレ」を振り返る授業リフレクション

## ～学習者目線の授業づくりに向けて～

【総合支援部高等学校支援課】

授業改善に自身の授業の振り返り(リフレクション)は欠かせません。そこで、シートを用いた(授業中の教師の意図と学習者の意識の「ズレ」)に着目する授業リフレクションの手法を紹介します。下のリフレクションシートを用いることにより、学習者の表れの背後にある内面に気づき、学習者目線からの授業づくりの視点を得ることができます。

### Point!!

授業中「うまくいっていない」と感じた場面での学習者の行動や表情、教室の空気等を思い出すことにより、自分(教師)と学習者との思考、感情、思い等の「ズレ」に気付く。

#### リフレクションシートの構成

#### 記入内容

どのような出来事だったのか		授業場面の抽出
(教師)私は	(学習者)児童・生徒は	
① 何を考えていたか?	⑤ 何を考えていたか?	自分(教師)と学習者の立場の両方から同じ質問に答える。
② どう感じていたか?	⑥ どう感じていたか?	
③ 何をしたかったのか?	⑦ 何をしたかったのか?	
④ 何をしたか?	⑧ 何をしたか?	
1～8の関連性を見て、気付いたこと		「ズレ」の認識
今回の事例から読み取れる自分の持ち味(長所)		持ち味の確認

～実際にこのシートを活用した研修員は、このような気づきを得ました～

「これくらい分かっているだろう」は禁物。

学習者の感情や考えをしっかり受け止めることが大切だと分かった。

「ズレ」に気付く

学習者目線からの授業づくりの視点

学習者の表れの背後にある内面に気付く

児童・生徒の思考や発想から展開する授業を構想したい。

## GWは「ふじのくにせかい演劇祭」へ! ～静岡で世界の「今」と出会う～

富士のふもと静岡で2000年に始まった演劇祭は、今年で20年目。注目の日本初演作や新作が続々登場し、多くの観客で賑わいます。また市街地では、路上でパフォーマンスを繰り広げる「ストレンジシード静岡」が同時開催され、まさに「演劇」と「まち」が一体となる10日間です。

なかでも注目は、SPAC芸術総監督・宮城聡の新作「マダム・ボルジア」。ルネサンス期のイタリアに実在し、かのヴィクトル・ユゴーが描いた希代の悪女の物語を、宮城は戦国時代末期の日本に置き換え、祝祭音楽が彩る痛快歴史スペクタクルとして立ち上げます。夕刻の広場で芝居を観る「おもしろさ」をぜひ体感してください。

### ふじのくにせかい演劇祭2019

4/27(土)～5/6(月・休)

静岡芸術劇場、舞台芸術公園、駿府城公園 ほか

### SPAC新作「マダム・ボルジア」

構成・演出:宮城聡 / 作:ヴィクトル・ユゴー /

出演:SPAC

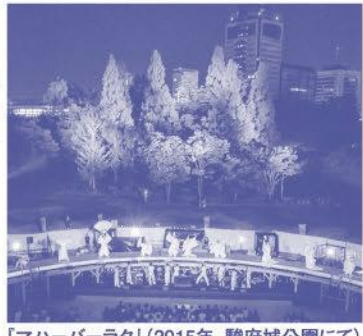
5/2(木・休)～5(日・祝) 各日18:45開演

駿府城公園 紅葉山庭園前広場

問 SPAC-静岡県舞台芸術センター

☎054(202)3399

HP <http://www.festival-shizuoka.jp>



「マハーバーラタ」(2015年、駿府城公園にて) ©SPAC/Photo by NAKAO Eiji

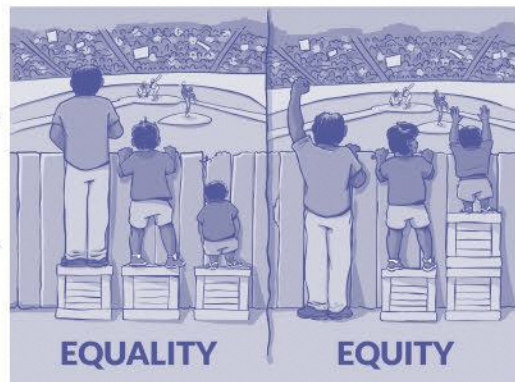
## 4月2日は「世界自閉症啓発デー」 4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です

障害者差別解消法においては、あらゆる障害のある方に対して、合理的配慮の提供が求められています。合理的配慮を考える時に、分かりやすいイラストを紹介します。左は平等、右は公平(公正)を表したものです。それぞれの違いを無視して、同じことを提供する(あるいは、しない)のは平等かもしれません。しかし、違いを理解した上で必要な対応をすることは公平(公正)と言えます。

合理的配慮は、「違っている」ことを理解し受け入れた上で、その個人や状況に応じて、必要な配慮や支援を提供することを意味します。教育における事例については、発達障害教育推進センターのホームページをご覧ください。

多様性や違いを認めずに、単に同じであることを求めれば、差別につながります。発達障害に限らず、LGBT、外国籍の人など多様な人たちが、当たり前で共生できる社会を目指しましょう。

※画像はInteraction Institute for Social Change |Artist: Angus Maguireより



【県発達障害者支援センター】

## 学び続ける教職員へ ～参加者募集中～

### 世界お茶まつり2019

3年に1度の国際的なお茶の祭典「世界お茶まつり」を春・秋の2回開催します。春の祭典では、県内各地の新茶の試飲・販売を行うワールドO-CHAマーケットや、牧之原台地に広がる雄大な茶園景観を楽しむウォーキング、サイクリングプログラムなど、魅力たっぷりのプログラムを開催します。

□実施日 春:2019年5月10日(金)～12日(日)

秋:2019年11月7日(木)～10日(日)

□会場 春:ふじのくに茶の都ミュージアムほか

秋:静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

□テーマ つなごうO-CHA

□入場料 無料

□問い合わせ先 第7回世界お茶まつり実行委員会 ☎054(202)1488

プログラム等詳細は「世界お茶まつり」で検索

HP <https://www.ocha-festival.jp/2019/>

### 観音山子どもフェスティバル

観音山で1日思い切り遊ぼう!午前は、ハイキングや沢遊びで、春の気持ちの良い観音山を満喫しましょう。午後は、ゲーム大会やビンゴ大会で盛り上がりましょう。毎年大人気ですぐに定員を満了イベントです。

□募集期間 2019年4月3日(水)10:00～

□実施日 【第1回】2019年4月27日(土)日帰り

【第2回】2019年4月28日(日)日帰り

□会場 静岡県立観音山少年自然の家

□定員 各回150人程度 先着順

□費用 一人500円

□問い合わせ先 静岡県立観音山少年自然の家 ☎053(545)0111

詳しい内容と参加申込み方法は、観音山少年自然の家のホームページをご覧ください。

### 広告

move! move! 静岡新聞 SBS

# 新聞を授業で活用してみませんか?

## 学校教職員対象の研修に講師を派遣します

学習指導要領の改定や大学入学共通テストの対策に、学校現場で新聞の活用が求められています。しかしながら多くの教職員の方から「教育現場での活用法がわからない」というお悩みの声が寄せられています。静岡新聞社では、学校の教職員向けの研修に講師を派遣し、教育現場に新聞を取り入れるノウハウをご案内しています。実践例を織り交ぜた充実した内容で、学校教育を強力にサポートします。

講師派遣料

# 無料

お申し込み・お問い合わせは

静岡新聞社読者プロモーション局 読者部 Tel.054-284-8984 (月曜～金曜 9時～17時) ※土・日・祝日は除く

★資料として当日の受講者分の新聞(1部130円)を購入していただきます。